科目ナンバー	EDU-1-038-j 科目名 教育課程論(初等)								
教員名	青木 博		開講年度学期 2020年度 後期		度 後期	単位数		2	
概要	学校教育を組織的・継続的に実施するには、教育課程を編成する必要があります。そして、教育課程編成の基準は学習指導要領にその内容や標準授業時数などが示されています。この授業では、教育課程の基準となる学習指導要領の変遷や教育課程編成の原理、学校が教育課程を編成・実施する際に留意する事項やその背景などを知り、教育課程を通して学校課題を解決する方法などを学びます。								
到達目標	この授業では次の事柄をめざします。 ①学習指導要領の性格や位置付け、その変遷、教育課程が社会において果たす役割などを理解すること。 ②教育課程編成の基本原理、児童や学校・地域などの実態を踏まえた教育課程編成や指導計画作成の重要性を理解すること。 ③教科・領域・学年をまたいで教育課程を編成することの意義や重要性、カリキュラム・マネジメントの意義、カリキュラムの評価などについての考え方を理解すること。								
	<u>-</u> の対応								
		自律する力		コミュニケーションカ		問是]題に対応する力		
共生のための知識	战	自己を理解する力		伝え合う力		分析	ー fし、思考する	カ	
共生のための態度	₹ ()	自己を抑制する力		協働する力	0	構た	見し、実行する	カ(0
グローカル・マイ ンド		主体性	0	関係を構築する	るカ	実践	桟的スキル		
教授法及び課題の フィードバック方 法	課題や学校 解します。 これらの学 ます。 なお、グル	これらの学修を、担当教員による説明、受講者による調査や発表、質疑応答、意見交換などにより進め							
アクティブラーニン	ノ グ (サービス・	サービスラーニング 課題解決型		題解決型学	学修)	
受講条件 前提 科目	教職を目指	す人の必修科目で	す。						
アセスメントポリ シー及び評価方法 デ語では、教育課程に関する基本的知識の習得状況や教育課程編成・実施に関する基本的な考えを評価する。					な考え方				
教材	必要なレジ	ュメや資料を配布す	るとともに、	参考資料につい	ても紹介	します。			
文部科学省「小学校学習指導要領」東洋館出版 ISBN978-4-491-03460-7 文部科学省「小学校学習指導要領解説 総則編」東洋館出版 ISBN978-4-491-03461-4									
内容・スケジュール	l								
1週目									
授業学修内容	教育課程とは何か 教師を志す動機や教師としてどのような教育を行いたいか、などについて意見交換を行う。また、その中 で教育課程の概要や必要性を知る。								
授業外字修内 容	外学修内 学校教育を行うのに必要な事項を復習する。また次回に向け、出身小学校の教育を思い起こし、地域の特色が表れていた学校行事や教育活動等をまとめておく。			時間数	2				
2週目									
授業学修内容	教育課程と学習指導要領 学校教育を実施するための教育計画である教育課程の必要性について考え、教育課程編成の諸要素、基準 となる学習指導要領、教育課程の実施計画である年間指導計画について知る。また、学習指導要領の変遷 と新学習指導要領が作成された背景、育成を目指す資質・能力の三つの柱などについて知る。								
授業外学修内 容	勝内 講義で扱った学習指導要領の変遷と新学習指導要領で育成する資質・能力な どについて復習する。また、第5回の学習指導要領改訂の経緯について、各改 時間数 3 訂ごとにその背景をまとめる。								
3週目									

授業学修内容	教育課程の役割 まず、学習指導要領ができるまでの流れを知る。その上で、資料から今回の学習 景を学び、これからの社会を生きる児童にどのような資質・能力が求められるのか 課程はどのような役割りを果たすのかを知る。		
授業外学修内 容	学習指導要領が作成されるまでの動きやそこで議論される内容を資料から振り返り、現在求められる資質・能力と教育課程の果たす役割についてまとめる。また、次回の講義に向け「経験主義」と「系統主義」について調べる。	時間数	3
 4週目		I_	·
授業学修内容	教育課程の類型とその背景 教育課程とカリキュラムのとらえ方、経験主義と系統主義の特徴と違い、それぞれ 主なカリキュラムの種類と内容を知る。	の考え方をす	背景とした
授業外学修内 容	デューイとブルーナーの考えや、主だったカリキュラム編成の目的や種類を 復習する。また、第5週目の学習指導要領改訂の経緯について、各改訂ごとに その背景を引き続きまとめる。	時間数	3
5週目	-		•
授業学修内容	学習指導要領改訂の経過 調査してきた学習指導要領改訂の背景について、グループで発表・意見交換を行 改訂の背景や特色を確認し、試案から新しい学習指導要領までの変遷についての		
授業外学修内 容	各時代の背景や教育課程の特徴、学習指導要領改訂の経過について復習し、さらに関係図書などを読み認識を深めておく。 また、次回に向け教育課程編成の手順について調べる。	時間数	3
6週目			
授業学修内容	教育課程の編成と諸要因 教育課程は誰が、何を基準や参考とし、どのような手順で編成するのか、また編成 ばならない事項や要素にはどのようなものがあるのかを具体例を参考にしながられた教育課程は学校でどのように実施されているのかを具体的な資料から読み解 評価について学ぶ。	ia。その上	で、編成さ
授業外学修内 容	「学習指導要領解説 総則編」に記載された教育課程編成の手順をまとめ、講義で扱った資料から学修内容を復習する。	時間数	3
7週目			
授業学修内容	指導計画作成における配慮事項 学習指導要領総則から編成の概要を確認し、特に指導計画の作成等に当たってで、 、学校は配慮事項を具体的にどう生かし教育課程を編成しているのかを実例によ		点を取り上げ
授業外学修内 容	「学習指導要領解説 総則編」の「第2節教育課程の編成」についてまとめ、講義で扱った資料から復習する。	時間数	3
8週目	•	•	•
授業学修内容	各教科等と道徳、外国語活動、総合的な学習の時間との関連 児童が身に付ける資質・能力を踏まえた上で、各教科と①道徳教育及び特別の教 指導内容などとの関連 ②外国語活動の目標や指導内容などとの関連 ③総合的 導の流れなどとの関連について具体的事例を通して学ぶ。		
授業外学修内 容	講義で扱った各教科と他の教科、領域がどう関連付いているのかをまとめる。 また、次時に向け特別活動の4つの内容について調べ、発表できるよう準備する。	時間数	3
9週目	•	•	
授業学修内容	特別活動と各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間などとの関連調査内容の発表後、特別活動の目標を、教育課程を通して育成する三つの資質する。また、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校事行の各指導内容や特色活動での学びが①各教科及び外国語活動②特別の教科道徳③総合的な学習の	こついて知る	。その後、特別
授業外学修内 容	関連をもっているのかを学ぶ。 講義で扱った特別活動と他の教科、領域がどう関連付いているのかまとめる。 また、次時に向け主体的・対話的で深い学びについて調べ、発表できるよう準 備する。	時間数	4
10週目			
授業学修内容	教育課程の実施1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の解説で、主体的・対話的で深い学びの目指すものや、「主体的な学び」「対話的ような要素をもつのかを確認する。その後、実際の指導事例の中にそれぞれの要	な学び」「深い	

	業がつくられているのかを学ぶ。					
授業外学修内 容	講義で扱った主体的・対話的で深い学びの入った指導事例を再度分析し、レポートとして仕上げる。	時間数	5			
11週目						
授業学修内容	教育課程の実施2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善言語環境の整備と言語活動の充実、コンピュータ等や教材・教具の活用、コンピュータの基ングの体験、学校図書館、地域の公共施設の利活用は、主体的・対話的で深い学かを実例を通して考えるとともに、指導に当たっての配慮点を知る。					
授業外学修内	学習指導要領総則や講義での配布資料をもとに復習する。プログラミング学	時間数	5			
容	習については、試験的に行われている指導事例を収集する。					
12週目	東本部のつも作っ さけん 社会ので流い出ができました。					
授業学修内容	教育課程の実施3 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動、体験活動、課題選択及び自主的、E主体的・対話的で深い学びとどのように関連付くのかを実例を通して考えるとともに配慮点を知る。					
授業外学修内 容	講義での配布資料をもとに復習するとともに、学習指導要領総則に示された 教科等ごとの具体的な取り組みをまとめる。	時間数	5			
13週目						
授業学修内容 一 授業外学修内 容	カリキュラム・マネジメントと学校課題の解決 カリキュラム・マネジメントの意義と三つの側面について理解した上で、これまでの教学修を踏まえ、提示された学校の抱える課題の解決に対し、学校は教育課程をどの ら解決しているのかを知る。また、カリキュラムの評価やその方法等について学ぶ。 カリキュラム・マネジメントについて、講義資料をもとに復習するとともに、 これまでの学修内容から、示された学校課題を教育課程を通しどう解決する のかを考える。					
14週目			•			
授業学修内容	学校課題解決の演習(1) 前時に与えられた学校課題の解決に向けた教育課程の編成や実施について、各自のアイデアをグループ 内で話合いレポートとしてまとめ、グループごとに発表の準備をする。					
授業外学修内 容	演習課題の解決に向け、各自から出されたアイデアをもとに検討し、グループで完成させる。また、作成したレポートの発表に向け準備する。	時間数	8			
15週目		•				
授業学修内容	学校課題解決の演習(2) 作成したレポートにより各グループの発表を行う。その後、学生同士による質疑応答 担当教員による評価を受ける。	答や協議を行(ハ、最後に			
授業外学修内 容	学生同士による協議や担当教員による評価を受け、レポートの修正等を行う。	時間数	5			
上記の授業外学修時間の合計		63				
その他に必要な自習時間 27						

Number	EDU-1-038-j	Subject	Theory of Educational Curriculum(Elementary)			
Name	青木 博(Aoki Hiroshi)		Second semester for 2020	Credits	2	
Course O utline	The school has to formulate a curriculum to educate pupils . This curriculum has a standard. It is Course of Study. The contents which pupils learn in school , the school hours and other important points are directed in Course of Study. Through such lectures, we will learn the transition of Course of Study, elements of a curriculum f ormulation, consideration to be taken in designing lesson plans and so on. And at the end of this series of lectures, we will try to make plans to solve various school proble ms.					